○　送水口

１　主な用途

送水口とは、建物で火災が起きたときに「消防ポンプ自動車から消火用水を建物内へ送り込むための受け口」となる機器で、連結送水管・スプリンクラー設備・連結散水設備で設けられ、消防隊の消火活動において非常に重要な役割をもつ機器です。

２　基準・規格

「スプリンクラー設備等の送水口の基準の一部を改正する件」（平成 26 年４月１４日消防庁告示第 19 号）に基づいた、登録認定機関（(一財）日本消防設備安全センター）の認定品であることと定められております。

３　形状・呼称

①自立型　②埋込型　③露出型　の三種類があります。



① 自立型の例



② 埋込型の例

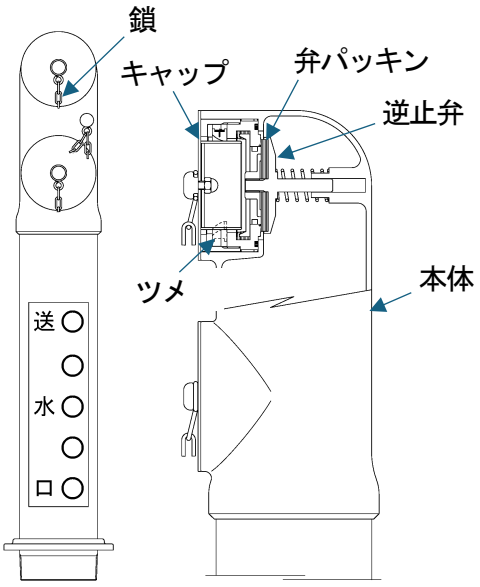


③ 露出型の例

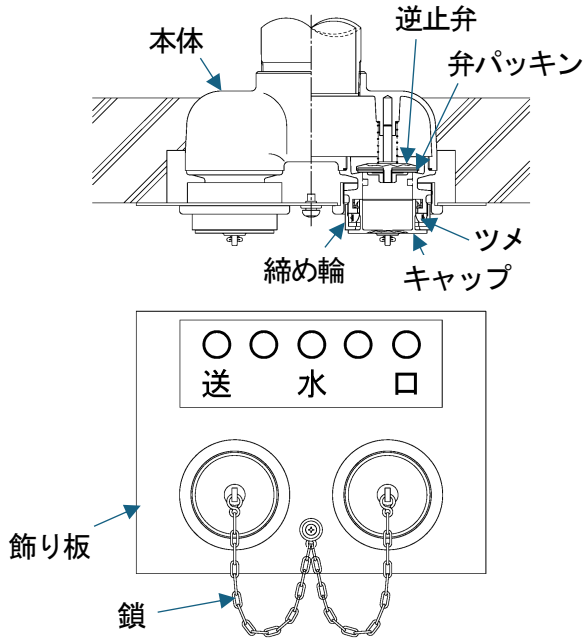
・　ホースが差し込まれるサイズは、「65A」です。
・　差込式（呼称 65 受け口）またはねじ式（呼称 65 受け口）と規定されています。

４　機器の構造・材質・圧力など

①　逆止弁を内蔵したものであること。



自立型送水口の構造例



埋込型送水口の構造例

②　材質について

主要な部品の材質は、日本産業規格（ＪＩＳ）で定められている銅合金（H5120)、鋳鉄品（G5501）又はステンレス鋳物（G5121）にて製造されています。

③　使用圧力について

最高使用圧力は２．０ＭＰａまで耐えられる構造となっております。

④　等価管長について

送水口の等価管長は３８．３ｍ以下となるように設計されています。

５　使用方法（※消防隊が使用する設備です）

①　送水口の位置を確認。

消防隊はまず建物外壁にある送水口の位置を特定する。

・　通常は**赤地白字表示**等の「送水口」標識で識別
・　地表から０．５～１．０ｍの高さに設置されている。
・　付近の障害物（駐車車両・植栽など）を排除して接続スペースを確保する。

②　キャップを外しホースを接続。

送水口の防塵キャップを外し、消防ホースを確実に接続する。

・　キャップを取り外す
・　ねじ込み式または差込式の金具にホースを接続する。
・接続部の緩みが無いことを確認する。

③　ポンプ車側と連携して送水を開始。

建物側の配管に過大圧力がかからないよう、消防隊が連携して送水を開始する。

・　ポンプ車側で圧力調整を行いながら送水する。
・　建物内の放水口・スプリンクラーなどへ水が供給される。

６　維持方法

点検は、「法令で１年以内の総合点検及び、半年以内毎の機器点検」が義務付けられています。

機器点検の内容

- 周囲に障害物が無いか。→樹木などが生い茂って邪魔して無いか確認。
- パッキンの劣化が無いか確認。
  →設置後年数が経っているとパッキンが破れたりしやすくなるため。
- 「表示文字」がしっかり読めるか。
  →経年劣化により「〇〇〇設備」「連結送水管」などの用途の区別ができるか。

参考　他製品



